

マークス・ワーナー氏とジム・ワイルダー氏は、共著である『Rare Leadership in the Workplace』の中で、成熟したリーダーとなるために、英語の頭文字をつなげた RARE リーダーシップという考えを提唱しています。最初の R は、"Remain Relational (関係性を保つ)"です。まずはわたし自身の体験を振り返りつつ、この考えをお伝えします。

わたしが会計事務所に勤務していた頃の事です。あるマネージャーが、わたしが彼女の権威を失墜させたと考えたことがありました。彼女は、このような場合に適切な対応として求められる、個人的に私をよびだして指導をするということはず、彼女のオフィスにわたしを呼び出し、彼女とパートナーがいる状態でわたしを辱め、けなしたのです。もし彼女がわたしと人間関係を保っていれば、わたしはこのことを通して必要な教訓を学び、自分の行動を正すことができたかもしれませんが、代わりに、わたしは屈辱と怒りを感じ、仕事を辞めました。

聖書はエペソ人への手紙 4 章 32 節でこのように語っています。「お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。」職場で問題が表面化された際、私たちはタスクとしてこの問題を対応することもできますが、関係性を保ちながら、関係性を損なうことなく問題を解決することもできます。

続いて、RARE リーダーシップの A は、"Act Like Yourself(自分らしくふるまう)"の略です。銀行で勤務していた頃、ある顧客が行員に対して暴言を吐きました。そこでわたしの元上司は、この資質の手本となる行動をしました。まずこの行員と顧客の間に自身が入り、この顧客と対峙しました。そして、この顧客との口論がエスカレートする状況を見て、最終的にこの顧客が口座に預けている合計金額の小切手を渡し、口座を閉じたのです。上司は、大人として必要な振る舞いをとりました。

イエスは、「主が、貧しい人々に福音を伝えるようにと、わたしに油をそそがれたのだから。主はわたしを遣わされた。捕らわれ人には赦免を、盲人には目の開かれることを告げるために。(ルカ 4:18)」と宣言されました。強く、成熟したリーダーは、大人として正しく行動します。彼らは簡単に誰かから操られることはありません。捕食者ではなく、保護者なのです。

RARE リーダーシップ、2 つ目の R は、"Return to Joy(喜びへの回帰)"です。数年前、ある社員に調子はどうかと尋ねると、元気だと答えたのですが、明らかに元気ではなく、何か悩んでいるようでした。彼女の目を見て、「本当はどうなんだ？」と問いかけると、彼女は涙を流しながら、自分の不安や悩みを打ち明けてくれました。後に彼女は、わたしのそのシンプルな行動によって、まだ困難な状況にあったにもかかわらず、喜びを取り戻すことができた伝えてくれました。

箴言 15 章 23 節に「良い返事をする人には喜びがあり、時宜にかなったことばは、いかにも美しい。」とあります。私たちは成熟したリーダーとして、いま恐怖の中で生きている人たちや、喜びを切実に必要としている人たちに対して、この喜びの意識を思い起こさせるよう働きかけることが大切です。

次に、RARE リーダーシップの E は、"Endure Hardship Well(苦難に耐える)"です。ジェームズ・パーカー氏が、サウスウェスト航空の CEO に就任したのは、2001 年 9 月 11 日に起こったアメリカ同時多発テロ事件のわずか数カ月前のことでした。この際、多くの航空会社はすぐに人員整理や経費削減を始めましたが、パーカー氏は従業員を解雇することなく、報酬を下げることもしませんでした。代わりに、冷静で着実なリーダーシップを発揮し、サウスウェスト社が、財務的な利益よりもチームを重視していることを証明したのです。

偉大なリーダーは、繁栄している際にあまり認識されないものです。むしろ、苦難に耐えたからこそ、偉大なリーダーだと評価されるのです。ヘブル 10 章 36 節において、「あなたがたが神のみこころを行って、約束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です。」と明示されているとおりです。

以上の4点に基づくと、あなたは、自身が RARE リーダーシップを実践していると思いますか？

#### 【適用】

1. 今回お伝えした RARE リーダーシップで述べた点は、あまり一般的に周知されていないのではないかと思います。あなたはこの4点のうち、どれが最もレアだ(珍しい)と思いますか？

2. 優れたリーダーが「関係性を保つ」ことができるのは、どのような理由からでしょう？この点をすでに実践できている人物が思い浮かびますか？もしあれば、その方について述べてください。あなたご自身はどうでしょう。関係を保つ点において、どれほど効果的に実践できているのでしょうか？

3. 「喜びへの回帰」という第三の点は、それぞれが置かれたいかなる状況でも幸せを感じさせる事ができると言って

いるわけではありません。ですが、問題が解決していないような困難な状況下においても、喜びを経験することはできると述べています。幸せと喜びの違いは何だと思われますか？

4. 困難に耐えうる“忍耐力”をどのように定義しますか？この性質は、特に大きな試練や困難の際に、リーダーが効果的か否か、またリーダーの信頼面をどのように高めるのでしょうか？

#### 【参考聖書箇所】

ガラテヤ 5:13-14、ピリピ 2:3-4, 4:6-7, 1 テサロニケ 5:16-18, ローマ 5:3-5, ヤコブ 1:2-4